

つくし野中だより

第4号

令和2年6月15日

校長挨拶

柳田 拓史

つくし野中学校全校生徒の皆さんへ

全校生徒の皆さん。おはようございます。いよいよ今日から学校が本格的に再開しました。本来であれば、体育館にて一同に会して、全校生徒の皆さんと顔を合わせてお話をしたいところです。でも、今回私たちが経験したコロナウイルスによる感染拡大は、私たちの日常にも大きな影響を与えました。そして私たち人類は、その経験から、どのような生活を営むことが感染拡大防止につながるのかを学びつつあります。

その意味において、今日の放送による全校朝礼も先週までの分散登校も新たな学校生活の始まりとも言えるのだと思います。皆さんの健康と安全を守りつつ、通常の学校生活を過ごすことが出来る環境を今日から皆さんと共に築き上げていきましょう。

1年生の皆さん

改めて、つくし野中学校への入学おめでとうでございます。4月7日の入学式以来、初めて学年全体が教室に登校することが出来ました。皆さんは小学校の卒業式・中学校の入学式という大事な人生の節目をコロナウイルス感染拡大の影響により、十分な環境で迎えることが出来ませんでした。

皆さんの心を思うと、私も心が痛みます。でも、今日からは学年が揃っての学校生活が始まります。中学生になったことを実感できる場面がたくさんあると思います。焦らずゆっくり、中学校を感じてください。

2年生の皆さん

約1年前。丸太の森でのカレーライス作りを覚えていますか。クラスごとにバスに揺られ、班ごとに火をおこし、皆が力を合わせておいしいカレーライスに舌鼓を打ったことを、つい昨日のことにように思い出します。上級生になりましたね。身体はもちろんのこと、中学生として多くのことを学び精神的にも逞しくなった様子が、表情から伝わります。焦らずゆっくり、上級生としての風格を身につけてください。

3年生の皆さん

最上級生になりましたね。残暑厳しい昨年9月の鎌倉を楽しみましたね。お寺や仏像との出会いと共に、ちょっと寄り道して美味しいものに巡り会ったりと、忘れられない一日となったことでしょう。自ら考え、実行して、集団力を高めてきた3年生。つくし野中学校の太黒柱として活躍してくれることを信じています。焦らずゆっくり、最上級生の夢を叶えてください。

I組の皆さん

昨年度9名だった仲間が12名に増えました。教室での授業の他にも、お花を育てたり、作物を収穫したり、また、茶道や華道、和菓子作り等、実際に体験する活動を通して、大きく成長していく姿を見るのを楽しみにしています。12名、二十四の瞳が醸し出すこれからのI組。夢は広がりますね。焦らずゆっくり、自分の良さを見つけてください。

部活動再開に向けて

6月からの学校再開に伴い、部活動について、町田市の方針に基づき以下のように活動を段階的に再開いたします。

- 1, 部活動の再開は、6月22日（月）からとします。
- 2, 臨時休業期間が長期にわたったことを踏まえ、円滑な部活動再開につなげるための期間として、6月15日（月）から19日（金）の期間で部活動再開に向けた準備期間として各部活動1日（1回）の準備日（部会）を設定します。
- 3, 活動は、週2日平日のみの活動とします。（土日祝日は実施しない）
- 4, 活動時間は、解散を含めて17：00までとします。
- 5, 原則として自校の活動のみにとどめ、市内外を問わず、大会への参加を含めて、合同練習会や練習試合、演奏会の参加・実施など、他校等との交流を控えます。
- 6, 一度に大人数が集まって密集する活動にならないよう配慮します。
- 7, 長期間の臨時休業後ということ踏まえ、いきなり激しい活動になることがないように、徐々に活動内容を多くするなど体を慣らすことを念頭において、余裕のある活動を実施します。
- 8, 健康観察を実施し、体調がすぐれない生徒は活動を休ませます。またその際、生徒本人・保護者の皆様のご意向を尊重しながら判断します。

※最後の大会、発表、演奏等の活動が行えなかった3年生の活動につきましては、本人や保護者のご意向を十分に尊重させていただきながら、原則として1学期（7月31日）までとします。但し、今後の感染状況等により、対外試合等が可能となった場合には、別途お知らせをいたします。

学校図書館について

先週生徒の皆さんには、お知らせした内容ですが、学校図書館の使用につきまして、改めてお知らせいたします。

- 1, 6月22日（月）から図書館を放課後（15：30～16：00）解放します。
- 2, 1人8冊、4週間借りることができます。是非利用してください。

◎図書室を使用する時は次のことを守りましょう。

- (1) 来室時は必ずマスクを着用しましょう。
- (2) 来室前に手洗いを実施しましょう。
- (3) 図書館の滞在時間をなるべく短くしましょう
- (4) 図書室で借りた本を読んだ後は必ず手を洗いましょう。
- (5) 開室中も借りた本は返却ボックスに返却してください。
- (6) 閲覧席は当面の間、使用できません。
- (7) 学年ごとに利用日が決まっています。

月：1学年 火：2学年 木：3学年

金：1学年

※I組はいつでも入室可能です。

※1年生22日：ABC組

26日：DEFG組のみの貸し出しです。

29日以降は月・金どちらも利用可能です。

- (8) 開室時間は当面の間、放課後のみです。
- (9) 室内人数を15人までとします。



SDGsの学習を通して

今日から本格的に授業が始まり、学校生活が再開しました。本校の全校生徒は今日現在741名です。その一人ひとりが大切にされ、異なる個性を認め合い、すべての皆さんが主役として活躍できる学校であってほしいと思います。

そこで、学校での様々な学習のひとつとして、今年度「SDGs」を取り入れようと思います。4、5月が学校での授業が出来ませんでしたので、どこまで実施出来るかわかりませんが、皆さんに今日からの学校生活を通じて「SDGsの考え方」を少しでも理解してもらえたら嬉しいです。そこで、少しSDGsの入口を今日は紹介してみようと思います。

SDGsって何だろう？

・2030年までに達成する世界の約束

気候変動による異常気象、海や森などの自然環境の破壊や汚染、経済成長による格差の広がり、多発する紛争・・・私たちの世界には、解決しなければならないたくさんの課題があります。こうした課題をそのままにしては、世界の未来は良い方向に進むどころか、今より悪い方向に進んでしまうかもしれません。SDGsは、世界が抱える様々な課題を解決して、より良い未来をつくるための「世界の約束」です。2015年に国連総会で採択され、2030年までの達成を目指しています。

SDGs = Sustainable Development Goals

持続可能な

開発

目標

・持続可能な開発とは？

「持続可能」とは、今だけでなくずっと続けていける、ということで、「開発」というのは、今あるいろいろな問題を解決して、みんなが安心して満足した暮らしができるようにする、ということです。

つまり、「持続可能な開発」とは、将来の人に負担を残したり、押し付けたりするようなことをしないで、今を生きる人たちの問題を解決していく、という意味になります。

・みんなで決めた17の目標

世界中の国の代表者、教育や保健などの専門家、女性や若者など、様々な立場の人が参加して、人々がより良い生活のさまたげになっている問題について、話し合いを行いました。そして多くの市民からも意見を集め、「貧困をなくそう」「不平等をなくそう」「気候変動への具体的な対策をしよう」など、これからの世界が解決すべき17の目標をつくりました。

※参考文献 SDGs START BOOKより

これだけではよくわからないと思います。

でも、世界にも目標があるように、つくし野中学校でもみんなが過ごしやすい環境作りや、豊かな人間関係を築くために、何が出来るだろうか？と考えるきっかけにSDGs学習がなってくれると良いと思います。

社会や学校を作るのは一部の人ではありません。全校生徒の皆さんの力と行動が必要です。

今住む地球を、そして今学ぶつくし野中学校をより良いものにするための第一歩踏み出してみませんか。



安全教育の重要性

皆さんが安心・安全に生活するために、学校では安全教育を行います。安全教育が対象とする領域は、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つから構成されています。各領域における内容は以下の通りです。

生活安全	交通安全	災害安全
日常生活で起こる事件・事故とその対処 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の安全 ・校内での安全 ・家庭生活での安全 ・地域や社会生活での安全 ・スマートフォン・携帯電話使用時の安全 	様々な交通場面における危険と安全 <ul style="list-style-type: none"> ・道路の歩行と横断及び交通機関の利用 ・自転車の安全な利用と点検・整備 ・二輪車・自動車の特性と心得 ・交通事故防止と安全な生活 	様々な災害発生時における危険と対処 <ul style="list-style-type: none"> ・火災時の安全 ・地震災害時の安全 ・火災災害時の安全 ・気象災害時の安全 ・原子力災害時の安全 ・避難所の役割と貢献 ・災害への備えと安全な生活

今日はこの中から、生活安全「地域や社会生活の安全」について触れてみたいと思います。

私たちすべての市民は社会生活を営んでいます。ある場面では一人のことはあっても、多くの人々が協力し合い、支え合いながら生活をしています。「人」を「人間」とする所以も「支え合う」という考え方に基づいているのかもしれませんが。

そこで、皆さんにとって一番身近な家の前や家の近くの道路での過ごし方について少しお話をします。

家の前の道は交通量が比較的少なく遊びたくなるかもしれませんが、でも、どんなに交通量が少ない道であっても公道であり、遊び場ではありません。道路での一輪車、ローラースケート、スケートボード等で遊ぶことは大変危険であり、他の利用者の方々にとってもご迷惑になります。公園などの安全な場所まで運んでいって、遊ぶようにしてください。

尚、公道でのボール遊び、ラジコン等も同様です。市民の皆さんが使用する公共の場の一部ですから、道路で遊ばず、公園に行って楽しんでほしいと思います。

また、公園などへの移動中に万一、ボールや遊び道具が一般のご家庭に入ってしまった場合は、きちんとそのお宅にお詫びをしてから取っていただくようにしてください。無断で敷地内に入らないようにしてください。もちろん駐車場も同様です。

冒頭にも書いたように、地域社会は、そこに暮らす皆さんの協力や支え合いで成り立っています。中学生の皆さんもこれを機会に自分の暮らす地域やコミュニティの一員としての自覚をもち、生活できるようになると素晴らしいことだと思います。実践してみてください。

すずかけ台から学校までの通勤路。3月は梅、4月は桜とハナミズキ、今は紫陽花と朝顔がきれいに花を咲かせています。「コロナウイルス」の影響を皆さんが感じる毎日ですが、こうして黙って咲いている草花を見ると、心が洗われて、小さな幸せを見つけたような気がします。学校が再開し、お子様の安全を第一に考えながら、校内で小さな幸せが見つけれられるよう、努めていきたいと思えます。すずかけの木、プラタナスの木言葉でもある「思索・学問」を想う今日この頃です。

